

あつという間に、冬休み

炎天下の体育祭練習から始まった2学期も今日で終わり。季節は巡って、山々も茶色く色づいています。季節の移り変わりは、本当に早いものですね。

さて、現在、3年生は受験勉強真っ盛り。授業を參觀しに行くと、1学期よりも、授業中顔を上げて真剣に取り組む姿が多く見られるようになりました。良い傾向です。3学期は、その姿が全校に広がると嬉しいなと思います。3年生は、どうかその「学びの姿勢」でも、全校の手本となってください。

また、私立高校受験の面接練習も始まり、私も校長面接と称して試験官役を務め、練習におつきあいしています。ふだん、3年生と一対一で深く話し込むことは少ないので、それは一人一人を理解する、貴重な時間となっています。

入試面接の定番質問ですが、「将来の夢は何ですか?」、投げかけるとこんな答えが返ってきます。

- ・「看護師になりたいです。」
- ・「介護の道に進もうと考えています。」
- ・「医療事務の資格をとって、病院で働きたいです。」
- ・「小さい頃から憧れだった、鉄道関係に就職したいです。」
- ・「レントゲン技師になって、ケガした人を助けたいです。」
- ・「プロのスポーツ選手になりたいです。精一杯頑張っ、それでも無理なら就職して、地元の子も達にもスポーツの楽しさを教える大人になりたいです。」
- ・「公務員になって、地域の役に立ちたいです。」
- ・「教員になりたいです。〇〇先生みたいになりたいです。」 等々……。

ああ、この生徒はこんなしっかりした考えをもってあるんだ、答えを聞いて心から嬉しくなるひとときです。嶺南中の3年生は堅実な人が多いですね。

ただ、大半の生徒が、前置きとして必ずこんな言葉をくっつけます。

- ・「まだはっきり決まっていらないんですけど……。」
- ・「なれるかどうか、わからないんですけど……。」

正直な回答ですが、この言葉、なくていいのではありませんか? 14歳・15歳の今、「〇〇になる!」と断言できるほど自信のある人など、そうそういるものではありません。「将来の夢」を聞いているのですから、「夢」でいいじゃないですか。

意外なことに、「大学に進学したい」という人の方が、その先を問われると困っています。大学進学希望者は、「入ることが目的」でなく、「そこで何を学ぶか」、「どんな方向の大学に進みたいか」、冬休みに少し考えてみてはどうでしょうか。高校進学の意味と大切さが、もっとはっきりするかもしれません。

ちょっと笑えた、校務センターの会話から

「平成最後の……」という言葉がよく聞かれるようになり、校務センターでも生徒の帰った夕方、こんな話が出ました。

A教諭 「平成じゃなくなると自分の年齢がわからなくなるな。オレ、平成元年生まれだから便利だったのに。」

校長 「昭和って長かったよね。先日、ある小学校で「昔のもの」という児童の展示物見ただけ、ワープロと黒電話が飾ってあってびっくりしたよ。小学生には「昔」なんだね。」

B教諭 「あれ、オレ、ダイヤル電話のかけ方知らない。使ったことないな。」

校長 「有線電話って知ってる? 地域に全部会話の内容が流れちゃうの。」

C教諭 「えーっ、個人情報丸出しじゃないですか。」

校長 「そんなの普通だよ。呼び出し電話なんて、近所の人が電話借りに来て、家の者は聞かないふりして夕飯食べてたものだよ。」

D教諭 「あ、それ、うちにもありました、けっこう気まずい状況……。」

まあ、書き出すときりがないので、ここまではまだ「昔の話」で、これからはAIの時代到来。20年後には、現在の職業の60%が消滅し、私たちの予測もつかない職業が生まれると言われていています。現在だってYouTuberとかゲーム音楽作者とか、新しい職業が続々と生まれていますが……。

今年の年末は閑庁日が設けられた関係で、御家族で過ごす時間も長くなると思われます。御家族で昔の暮らしを語り合ったり未来を予測したりする「語らいの時間」を大切にいただけたら幸いです。

書き初め練習

18日(火)・19日(水)と、書き初め練習を行いました。生徒作品を見ると、初日なのになかなかの出来映えです。

書き初めは、「若水(元日に汲んで神仏に供えた水)で墨をすり、恵方に向かって詩歌を書く」という文化尊重の心から生まれた行事で、現代では、「新年に心を張りつめて文字を書き、学びの心を新たにすること」という意味も込められています。

年明け、皆さんの練習の成果を楽しみにしています。

大根収穫

1年生の大根栽培、今年は豊作で、瑞々しい立派な大根がたくさん収穫できました。早速、家庭科で切り干し大根作り。新学期、給食に出るのが、楽しみです。

